

東亜同文書院関係目録の作成について

豊橋図書館 成瀬 さよ子

1. 『大旅行誌』の目次データを図書館のホームページ上に公開しました。大旅行誌は東亜同文書院生が中国各地を調査旅行に出かけた時、『中国調査報告書』のいわば副産物として毎年単行本としてまとめて出版された日誌です。

第5期生(1907年)から第40期生(1943年)に至る延べ2,718名の名前・タイトル・旅行先から検索可能です。

アドレスは、<http://hegel.aichi-u.ac.jp/tools/toa/index.html> です。今本文のデジタル化を計画しており、予算が認められればWeb上から本文をPDFにて読めるようにしたいと考えています。

2. 東亜同文書院関係論文目録を作成しました。

構成は大きく3部門に分けました。① 雑誌論文 ② 図書の中に書かれた1論文 ③ 東亜同文書院関係出版物一覧を予定しています。

調査したところあまりに多いため雑誌論文ですら一度に載せる事が出来ませんでした。次回に継続したいと思います。

凡例

- 紙面の関係上2ページ以下の論文は、採録していない。
- 「霞山会報」「東亜同文会連絡月報」「滬友学報」は全て東亜同文会・東亜同文書院関係のパンフレットであるので省略した。同様に「東亜同文会報告」「支那調査報告書」「支那」については東亜同文会の機関誌であるので「論文」は採用したが、東亜同文書院の入学・卒業式・同文会大会などの行事記事についてはここでは割愛した。
- 収録論文は出版年の古い順とした。時系列的にすることにより社会的に東亜同文書院がどのように捉えられているか少しは明確になると思った。
- 論文集等いわゆる『図書』として出版されたものは、ここには収録せず②の図書の部に収録した。
- 新聞記事は収録対象としていない。
- 先人が刊行した目録は全く発見できなかったため、参考文献を調べながら、現物からの目次情報を確認しながらの手作業となった。このため見落としや欠号のため未調査資料も多いはずである。なお海外の資料についてはまだほとんど調査に及んでいない。今後改訂版を作成する必要がある。

東亜同文書院関係論文目録 ① 雑誌の部 (No. 1)

	論文名	著者名	雑誌名	号数	年・月	ページ	請求番号
1	蒙古旅行談(7月9日於鍋島副会長邸)	草政吉(書院学士)	東亜同文会報告	第82回	1906.9	1-30	051:176
2	列国ノ対清貿易策(承前)	東亜同文書院調査	東亜同文会報告	第85回	1906.12	1-16	051:176
3	新疆蒙古視察談(明治39年12月12日鍋島副会長邸二於テ)	桜木好孝(書院学士)	東亜同文会報告	第86回	1907.1	1-20	051:176
4	新疆蒙古視察談(承前)完	桜木好孝(書院学士)	東亜同文会報告	第87回	1907.2	1-24	051:176
5	新疆旅行談	林出賢次郎(書院学士)	東亜同文会報告	第93回	1907.8	1-20	051:176
6	滇越警見談(10月30日於鍋島会長邸)	江部淳夫演説(書院学士)	東亜同文会報告	第96回	1907.11	1-19	051:176
7	天津ニ於ケル外人ノ勢力:支那内地大調査の一	上海東亜同文書院調査	東亜同文会報告	第107回	1908.10	12-26	051:176
8	天津ニ於ケル外人ノ勢力(承前)	上海東亜同文書院調査	東亜同文会報告	第110回	1909.1	29-45	051:176
9	論説:満清見聞所感	根津一	東亜同文会報告	第105回	1909.6	1-15	051:176
10	論説:張中堂の薨去に就いて	根津一	東亜同文会報告	第119回	1909.1	1-7	051:176
11	地理紀行:東部蒙古遊記(一)	東亜同文書院錦斉旅行班員	支那/東亜同文会	3(5)	1912	46-54	W3:Z441
12	地理紀行:東部蒙古遊記(二) *これより東部蒙古と記載されている	東亜同文書院錦斉旅行班員	支那/東亜同文会	3(6)	1912	43-51	W3:Z441
13	地理紀行:東部蒙古遊記(完)	東亜同文書院錦斉旅行班員	支那/東亜同文会	3(7)	1912	53-61	W3:Z441
14	地理紀行:滇山蜀水	東亜同文書院雲南四川旅行隊	支那/東亜同文会	3(8)	1912	41-48	W3:Z441

	論文名	著者名	雑誌名	号数	年・月	ページ	請求番号
15	地理紀行：滇山蜀水(二)	東亜同文書院雲南四川旅行隊	支那 / 東亜同文会	3(9)	1912	40-47	W3:Z441
16	地理紀行：滇蜀紀行(完) *原題のママ	東亜同文書院雲南四川旅行隊	支那 / 東亜同文会	3(11)	1912	40-47	W3:Z441
17	地理紀行：南越遊記	東亜同文書院汕頭広州湾旅行班	支那 / 東亜同文会	3(12)	1912	34-40	W3:Z441
18	江西省林業調査	東亜同文書院旅行隊報告	支那 / 東亜同文会	4(9)	1913.5	57-69	W3:Z441
19	雲南紀行(一)	岳南	支那 / 東亜同文会	4(17)	1913.9	53-59	W3:Z441
20	雲南紀行(二)	岳南	支那 / 東亜同文会	4(18)	1913.9	49-54	W3:Z441
21	雲南紀行(三)：思茅旅行記	岳南	支那 / 東亜同文会	4(19)	1913.10	46-48	W3:Z441
22	雲南紀行(四)：騰越永昌間	岳南生 *ママ	支那 / 東亜同文会	4(20)	1913.10	53-59	W3:Z441
23	雲南紀行(五)：永昌大理間	岳南生	支那 / 東亜同文会	4(21)	1913.11	54-57	W3:Z441
24	雲南紀行(六)：大理府	岳南生	支那 / 東亜同文会	4(23)	1913.12	54-56	W3:Z441
25	雲南紀行(七)完	岳南生	支那 / 東亜同文会	4(24)	1913.12	64-68	W3:Z441
26	旅行班通信：福建通信	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(16)	1914.8	71-76	W3:Z441
27	旅行班通信：直隸通信	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(17)	1914.9	48-57	W3:Z441
28	旅行班通信：四川通信	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(19)	1914.10	62-66	W3:Z441
29	旅行班通信：貴州通信	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(20)	1914.10	54-59	W3:Z441
30	会報：東亜同文会对支貿易誘導部の新設	東亜同文会	支那 / 東亜同文会	5(20)	1914.10	72-73	W3:Z441
31	旅行班通信：貴州通信	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(21)	1914.11	64-70	W3:Z441
32	旅行班通信：貴州通信	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(22)	1914.11	54-56	W3:Z441
33	旅行班通信：貴州省	東亜同文書院学生旅行隊	支那 / 東亜同文会	5(24)	1914.12	68-71	W3:Z441
34	論説：上海東亜同文書院の落成	(大村北海生)	支那 / 東亜同文会	8(10)	1917.5	1-4	W3:Z441
35	論説：書院出身者諸氏に希望す	森茂	滬友 / 滬友会	記念号	1917.6	16-22	W3:Z312
36	根津院長旅行略誌	富田生誌	滬友 / 滬友会	2	1917.10	8-21	記念センター
37	滬友誌私見	世良生	滬友 / 滬友会	4	1918.3	11-13	W3:Z312
38	書院記事：第十六期支那内地旅行調査予定	東亜同文書院	滬友 / 滬友会	4	1918.3	139-142	W3:Z312
39	書院を思ふ	久保田 正三	滬友 / 滬友会	5	1918.6	33-43	W3:Z312
40	浪漫の書院	吞太	滬友 / 滬友会	5	1918.6	113-127	W3:Z312
41	大旅行を願みて	吞太	滬友 / 滬友会	7	1918.12	78-87	W3:Z312
42	滬友月旦：新に卒業する学士の方々	成澤 吞太	滬友 / 滬友会	9	1919.6	72-83	W3:Z312
43	瀛寰見聞録(渡日感想録)	朱紹棠(書院)	滬友 / 滬友会	17	1921.11	52-55	W3:Z312 中国語
44	故副院長石川一先生追悼号	桜木 俊一・青木喬他	滬友 / 滬友会	18	1922.3	1-17	W3:Z312
45	文叢：三年振の上海	吞太生	滬友 / 滬友会	20	1922.12	17-21	W3:Z312
46	論説：書院の反省時代	坂本 義孝	滬友 / 滬友会	24	1924.4	2-11	W3:Z312
47	近衛公の同文書院視察	東亜同文会	支那 / 東亜同文会	17(11)	1926.11	130-132	W3:Z441
48	第三 邦人学校概覧：一. 東亜同文書院	林 瀨三郎	支那研究	18	1930.2	350-356	051:177
49	近衛霞山公の大亜細亜経綫に就いて	白岩 龍平	大亜細亜主義	1(8)	1933.8	42-48	W3:Z218
50	荒尾東方齋先生の訓諭	東亜同文会	支那 / 東亜同文会	24(12)	1933.12	66-67	W3:Z441
51	東亜同文会記事・東亜同文書院講演会	東亜同文会	支那 / 東亜同文会	25(7)	1934.7	67-78	W3:Z441
52	追憶東方齋荒尾先生：二十五周年記念号発刊に就いて	白岩 龍平	支那 / 東亜同文会	25(10)	1934.10	1-8	W3:Z441
53	荒尾先生の追憶：巨人荒尾精を憶ふ / 頭山 満・荒尾精氏の想出 / 緒方二三・噫々荒尾先生 / 大内暢三・対支経綫の先駆者荒尾 / 森 清右衛門・東亜経綫の士荒尾先生 / 井戸川辰三・荒尾先生後嗣選定と根津氏の苦心 / 牧田武・貿易研究所の校歌 / 郡嶋忠次郎・若王子時代の荒尾先生 / 井上雅二・若王子の思ひ出 / 遠藤留吉・荒尾先生に引率されて / 大澤大之助・荒尾先生の支那観 / 岡野増次郎		支那 / 東亜同文会	25(10)	1934.10	234-270	W3:Z441
54	東方齋先生の追憶：霞山会館に於ける座談会速記	東亜同文会	支那 / 東亜同文会	25(10)	1934.10	276-292	W3:Z441
55	付録 1：対清意見 2：対清辦妄	荒尾 精	支那 / 東亜同文会	25(10)	1934.10	1-40 1-37	W3:Z441
56	対支先覚者の逸話	中島 眞雄	支那 / 東亜同文会	26(2)	1935.2	80-82	W3:Z441
57	靖亜神社建立記念号：偉人近衛篤磨公の追憶	金杉 英五郎	支那 / 東亜同文会	26 記念号	1935.12	5-11	W3:Z441
58	靖亜神社建立記念号：東亜経綫の先駆者東方齋荒尾精を偲ぶ	伊奈 森太郎	支那 / 東亜同文会	26 記念号	1935.12	12-22	W3:Z441
59	靖亜神社建立記念号：根津山洲先生を憶ふ	小幡 西吉	支那 / 東亜同文会	26 記念号	1935.12	23-27	W3:Z441
60	支那旅行記前がき	小竹 文夫	支那 / 東亜同文会	27(7)	1936.7	15-21	W3:Z441

	論文名	著者名	雑誌名	号数	年・月	ページ	請求番号
61	西安への旅・山西縦断記・廣東から廣西省桂林南寧へ・廣西より沸嶺印度支那を経て雲南へ・雲南廣西省境行	東亜同文書院学生	支那 / 東亜同文会	27(7)	1936.7	23-81	W3:Z441
62	東亜同文書院旅行記：江西旅の徒然草	江西省遊歴班	上海 / 上海雜誌社	971	1937.7	64-68	W3:Z420
63	東亜同文書院学生大旅行印象記	小竹 文夫	支那 / 東亜同文会	28(8)	1937.8	42-117	W3:Z441
64	昭和12年度東亜同文書院 東亜旅行記	小竹 文夫・書院学生	支那 / 東亜同文会	29(6)	1938.6	121-171	W3:Z441
65	近衛篤磨公：「対支回顧録」より		支那 / 東亜同文会	29(8)	1938.8	166-194	W3:Z441
66	惠州城外に華と散った大亜細亜主義者山田良政氏を憶ふ	(一記者)	上海 / 上海雜誌社	976	1938.11	95-99	W3:Z420
67	伯父山田良政の故地を尋ねて	山田 華生	上海 / 上海雜誌社	976	1938.11	100-103	W3:Z420
68	白岩龍平氏と支那問題	対支功勞者伝記編纂会	支那 / 東亜同文会	29(11)	1938.11	135-149	W3:Z441
69	大亜細亜主義の先覚・山田良政	本協会調査部	大亜細亜主義	6(12)	1938.12	41-43	W3:Z218
70	東亜同文書院大学の前途に期待す	長 氏 生	上海 / 上海雜誌社	992	1940.3	14-20	W3:Z420
71	台北に於ける故東方齋荒尾先生顕彰事業	井上 雅二	支那 / 東亜同文会	33(3)	1942.3	118-122	W3:Z441
72	東亜同文会記事	東亜同文会	支那 / 東亜同文会	33(3)	1942.3	174-176	W3:Z441
73	故山洲根津一先生追憶談：根津山洲君追憶のことゝも / 中島眞雄・陸軍大学校時代の根津先生 / 坂西利八郎・山洲先生十七回忌追憶 / 根岸佶・日露戦争時代の根津先生 / 一宮房治郎・根津先生の陰徳一つ / 松本七郎		支那 / 東亜同文会	34(4)	1943.4	91-112	W3:Z441
74	論叢：光輝ある我等の伝統精神(興亜先覚の偉業を想ふ)	津田 静枝	支那 / 東亜同文会	35(1)	1944.1	1-16	W3:Z441
75	対支先覚者追想記：小川平吉先生の思ひ出	猪野毛利栄	支那 / 東亜同文会	35(1)	1944.1	62-65	W3:Z441
76	対支先覚者追想記：故白岩子雲先生を偲びて	萩野元太郎	支那 / 東亜同文会	35(2)	1944.2	45-47	W3:Z441
77	対支先覚者追想記：中島翁の憶出	佐藤安之助	支那 / 東亜同文会	35(3)	1944.3	46-48	W3:Z441
78	学会豫滴：中国實體調査	根岸 佶	一橋論叢	23(5)	1950.5	88-92	330.5:6
79	岸田吟香小傳	大鹿 卓	天地人 / 霞山俱樂部	1	1952.盛夏	26-33	W5:Z303
80	近衛 篤磨	大鹿 卓	天地人 / 霞山俱樂部	3	1953.新春	34-42	W5:Z303
81	霞山公を想う	徳川 家正	天地人 / 霞山俱樂部	4	1953.陽春	10-12	W5:Z303
82	荒尾精小傳	大鹿 卓	天地人 / 霞山俱樂部	5	1953.朱夏	34-43	W5:Z303
83	近衛霞山公五十年祭記念：霞山公とナショナルリズム	小竹 文夫	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	10-12	W5:Z303
84	追想：近衛霞山公の同情心	小笠原 長生	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	14-17	W5:Z303
85	追想：父霞山の思い出	大山 真貴子	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	17-20	W5:Z303
86	追想：霞山公追想記	塩谷 温	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	21-24	W5:Z303
87	追想：霞山公と陽明文庫	新村 出	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	24-27	W5:Z303
88	追想：霞山公と義和団事件前後	根岸 佶	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	27-28	W5:Z303
89	追想：父子二代	水谷川 忠磨	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	29-30	W5:Z303
90	追想：興亜の先覚篤磨公を憶う	山田 順三郎	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	30-33	W5:Z303
91	近衛家に傳世した文化財：霞山公の五十年祭に於て霞山公に宛てた劉坤一・張之洞の書簡(満州問題をめぐる日清交渉の一資料)	田山 方南	天地人 / 霞山俱樂部	9	1954.爽緑	39-42	W5:Z303
92	近衛霞山公五十年祭追悼会：談話 一條実孝、岡部長景、阿部 能成、大山 柏、張 燕卿		天地人 / 霞山俱樂部	10	1954.朱夏	25-29	W5:Z303
94	東南西北：根津先生と酒	富田 寿男(13期)	滬友 / 滬友会	6	1959.5	16-17	370.5:107
95	東南西北：中国旅行見聞	鈴木 沢郎(15期)	滬友 / 滬友会	6	1959.5	18-19	370.5:107
96	東南西北：根津先生と張作霖	富田 寿男(13期)	滬友 / 滬友会	7	1959.10	36-38	370.5:107
97	東南西北：書院初期の追憶	山崎 誠一郎(1期)	滬友 / 滬友会	8	1959.12	27-33	370.5:107
98	東南西北：根津先生と大總統	富田 寿男(13期)	滬友 / 滬友会	8	1959.12	36-38	370.5:107
99	東南西北：根津先生の追憶	佐野 恭(2期)	滬友 / 滬友会	9	1960.4	2-3	370.5:107
100	東南西北：根津先生と曹汝霖	富田 寿男(13期)	滬友 / 滬友会	9	1960.4	3-4	370.5:107
101	荒尾精の教育と理想	魚返 善雄	東亞時論 / 霞山会	2(4)	1960.4	23-26	305:119
102	山田純三郎翁を憶う	波田 博	滬友 / 滬友会	9	1960.4	40-44	370.5:107
103	東南西北：不出家の禅僧達(1)：東方先覚列伝	菊池 貞二(5期)	滬友 / 滬友会	10	1960.8	2-9	370.5:107
104	東南西北：根津院長と森教頭	富田 寿男(13期)	滬友 / 滬友会	10	1960.8	10-12	370.5:107
105	東南西北：福井二郎先生のことども	堀 亮三(17期)	滬友 / 滬友会	10	1960.8	13-16	370.5:107
106	東南西北：書院野球の思い出	立脇 耕一(14期)	滬友 / 滬友会	11	1961.4	3-7	370.5:107
107	東南西北：不出家の禅僧達(2)東方先覚列伝	菊池 貞二(5期)	滬友 / 滬友会	11	1961.4	7-12	370.5:107
108	東南西北：根津先生と真島師	富田 寿男(13期)	滬友 / 滬友会	11	1961.4	15-17	370.5:107
109	東南西北：根津先生の思想への模索	熊野 正平	滬友 / 滬友会	11	1961.4	18-23	370.5:107
110	東南西北：不出家の禅僧達(3)東方先覚列伝 荒尾東方齋	菊池 貞二(5期)	滬友 / 滬友会	12	1961.9	3-7	370.5:107
111	東南西北：東方齋荒尾精先生の思い出	牧野 虎次	滬友 / 滬友会	12	1961.9	7-9	370.5:107

	論文名	著者名	雑誌名	号数	年・月	ページ	請求番号
112	東南西北：根津先生の思い出	浜田 増人(10期)	滬友/滬友会	12	1961.9	10-12	370.5:107
113	東南西北：根津先生と三崎山	富田 寿男(13期)	滬友/滬友会	12	1961.9	12-13	370.5:107
114	東南西北：山洲根津一先生の祭典に参列して追憶を語る	荒井 金造	滬友/滬友会	12	1961.9	13-16	370.5:107
115	東南西北：不出家の禅僧達(3) 東方先覚列伝 荒尾東方斎(続)	菊池 貞二(5期)	滬友/滬友会	13	1962.7	3-7	370.5:107
116	東南西北：根津先生と琉球と私	佐々木 微笑(11期)	滬友/滬友会	13	1962.7	15-17	370.5:107
117	東南西北：根津先生と塚崎大先輩	富田 寿男(13期)	滬友/滬友会	13	1962.7	17-19	370.5:107
118	東南西北：殉難経とその行者 九烈士面影 山崎兼三郎君	菊池 貞二	滬友/滬友会	14	1962.11	2-7	370.5:107
119	東南西北：上海に於ける最後の同窓会	湯浅 之夫(22期)	滬友/滬友会	14	1962.11	22-25	370.5:107
120	東亜関係諸団体考古記(3)：[日清貿易研究所]	六角 恒広	東亞時論	5(4)	1963.4	16-19	305:119
121	東亜関係諸団体考古記(4)：[東亜同文会]	六角 恒広	東亞時論	5(4)	1963.4	11-14	305:119
122	東南西北：殉難経とその行者 九烈士面影(2) 石川伍一君・藤島武彦君	菊池 貞二(5期)	滬友/滬友会	15	1963.10	7-13	370.5:107
123	東南西北：根津先生と鶏冠山	富田 寿男(13期)	滬友/滬友会	15	1963.10	15-17	370.5:107
124	東南西北：殉難経とその行者 九烈士面影(3) 楠内友次郎君その他	菊池 貞二(5期)	滬友/滬友会	16	1964.3	5-19	370.5:107
125	東南西北：根津先生と鎮江山	富田 寿男(13期)	滬友/滬友会	16	1964.3	23-24	370.5:107
126	日清貿易研究所の性格とその業績：わが国の組織的な中国問題研究の第一歩	野間 清	歴史評論	167	1964.7	68-77	205:20
127	東南西北：蒼茫七十年 東方先覚列伝(4)	菊池 貞二(5期)	滬友/滬友会	17	1964.9	4-30	370.5:107
128	東南西北：根津先生と其の秘書(国土宇治田直義君)	富田 寿男(13期)	滬友/滬友会	17	1964.9	46-49	370.5:107
129	東南西北：小竹先生との思い出	草平(33期)	滬友/滬友会	17	1964.9	57-60	370.5:107
130	東南西北：わがはたちの日 中国で過ごした激動の時代	大城 立裕	滬友/滬友会	17	1964.9	60-61	370.5:107
131	東南西北：蒼茫七十年 東方先覚列伝(5)	菊池 貞二(5期)	滬友/滬友会	18	1965.3	4-30	370.5:107
132	東亜同文会と東亜同文書院	竹内 好	中国/中国の会	21	1965.8	7-22	051:171
133	岸田吟香の「吳淞日記」：慶應三年正月の上海	岸田 鶴之助	中国/中国の会	24	1965.11	5-16	051:171
134	家塾・同文書院・民報社：日本に生きる一中国人の回想	孫伯醇	中国/中国の会	30	1966.5	24-33	051:171
135	東南西北：真島先生とハステルロ校舎の思出	鎌田 政国(14期)	滬友/滬友会	24	1968.7	6-9	370.5:107
136	東南西北：「中日大辞典」について	大矢 信彦(16期)	滬友/滬友会	25	1968.12	5-8	370.5:107
137	東南西北：書院の想い出	十枝 勝(19期)	滬友/滬友会	25	1968.12	9-12	370.5:107
138	山洲根津先生傳：自叙伝(二)		滬友/滬友会	25	1968.12	36-43	370.5:107
139	外務省日中関係資料の発掘：近衛篤磨日記を読みみて(上)	河村 一夫	季刊東亜/霞山会 東亜学院	105	1968.12	87-101	305:63
140	外務省日中関係資料の発掘：近衛篤磨日記を読みみて(中)	河村 一夫	季刊東亜/霞山会 東亜学院	108	1969.9	86-95	305:63
141	近衛霞山の人間と思想：東亜保全政策の理想	葦津 珍彦	霞山/霞山会	30	1969.10	1-8	W5:Z257
142	外務省日中関係資料の発掘：近衛篤磨日記を読みみて(下)	河村 一夫	季刊東亜/霞山会 東亜学院	109	1970.2	94-108	305:63
143	根津山洲の俠客学校	毛呂 清輝	霞山/霞山会	40	1970.9	56-57	W5:Z257
144	東亜学院の躍進と大陸への郷愁	鎌田 政国(14期)	滬友/滬友会	30	1971.7	8-20	記念センター
145	荒尾根津両先生の教育と理想：附(1)東亜同文会の歴史(2)東亜同文書院とその卒業生	河返 善雄	滬友/滬友会	付録	1971.8	1-20	370.5:107
146	中日大辞典の思い出	鈴木 拓郎(15期)	滬友/滬友会	32	1972.11	37-39	記念センター
147	“山田良政先生之碑”について	鈴木 拓郎(15期)	滬友/滬友会	33	1973.7	73-75	記念センター
148	惠州の塩：孫文革命に一身を捧げた山田良政の熱血の生涯	都築 七郎	日本及日本人	1519	1973.9	189-197	
149	東亜保全の構想：東方斎・山洲両先覚の遠見	滬友会	滬友/滬友会	34	1973.12	1-10	記念センター
150	日中関係史 6：東亜同文会と同文滙報(上)	中下 正治	季刊現代中国	9	1974.春	80-97	305:66
151	日中関係史 7：東亜同文会と同文滙報(下)	中下 正治	季刊現代中国	10	1974.夏	90-105	305:66
152	大旅行誌に憑かれて(上)	笠坊 乙彦(38期)	滬友/滬友会	36	1975.3	52-57	記念センター
153	書院の講師から上海工部局の参事会員へ	岡本 乙一	滬友/滬友会	36	1975.3	75-80	記念センター
154	大旅行誌に憑かれて(中)	笠坊 乙彦(38期)	滬友/滬友会	37	1975.10	45-51	記念センター
155	山洲根津先生特集		滬友/滬友会	38	1976.3	1-51	記念センター
156	大旅行誌に憑かれて(下)	笠坊 乙彦(38期)	滬友/滬友会	38	1976.3	69-73	記念センター
157	大旅行誌と支那省別誌	吉本 仁(22期)	滬友/滬友会	38	1976.3	73-76	記念センター
158	「米中準同盟」と「東亜保全策」：東亜同文会の初期の活動に寄せて	江頭 数馬(44期予)	滬友/滬友会	39	1976.9	16-23	記念センター
159	特集忘れられた戦中派幼の名門校 その1：東亜同文書院 - 大陸を追われた人々 敗戦までの46年間 上海に学んだ学生たちは	虹橋 海亮	創：月刊総合雑誌 ツクル		1977.8	130-140	

	論文名	著者名	雑誌名	号数	年・月	ページ	請求番号
160	「書院廃校・愛大創立」当時の回想	本間 喜一(口述)	滬友/滬友会	41	1978.1	45-58、92	記念センター
161	七十年・旧き記憶のあやどり	石崎 広治郎(2期)	滬友/滬友会	41	1978.1	73-77	記念センター
162	東亜同文会と東亜同文書院：その成立事情、性格および活動	大森 史子	アジア経済	19(6)	1978.6	76-92	330.5:55
163	東亜同文会の活動と清末の情勢(上)	江頭 教馬	東亜/霞山会	140	1979.2	9-20	305:86
164	東亜同文会の活動と清末の情勢(下)	江頭 教馬	東亜/霞山会	141	1979.3	56-65	305:86
165	東亜同文書院の軌跡と役割：「根津精神」の究明	森 時彦	歴史公論	5(4)	1979.4	46-52	205:46
166	上海時代の思い出(最終回)	岩井 英一(18期)	滬友/滬友会	44	1979.12	47-73	370.5:107
167	大内暢三先生略伝	遠藤 進(28期)	滬友/滬友会	45	1980.5	9-32	370.5:107
168	魯迅の講演	蔵居 良造(28期)	滬友/滬友会	45	1980.5	33-36	370.5:107
169	「随想」京劇と書院	雪本 新吉(31期)	滬友/滬友会	45	1980.5	37-39	370.5:107
170	ブラジルの大地にはばたくサムライ：戦後移住の書院児	上野 宏(28期)	滬友/滬友会	45	1980.5	40-42	370.5:107
171	大内暢三先生略伝(2)	遠藤 進(28期)	滬友/滬友会	46	1980.10	22-34	370.5:107
172	魯迅の華語特別講義に想う	鈴木 拓郎(書院教授)	滬友/滬友会	46	1980.10	35-36	370.5:107
173	書院生活雑感	宮下 忠雄(書院教授)	滬友/滬友会	46	1980.10	37-38	370.5:107
174	東亜同文書院と私	春宮 千鉄(書院教授)	滬友/滬友会	46	1980.10	39-40	370.5:107
175	寮歌「長江の水」に想う	大矢 信彦(16期)	滬友/滬友会	47	1981.6	24-26	370.5:107
176	日清秘話：向野堅一従軍日記	向野 堅一	滬友/滬友会	47	1981.6	38-60	370.5:107
177	戦争に消えた友の足跡	春名 和雄(36期)	滬友/滬友会	49	1982.1	41-44	370.5:107
178	孫文と東亜同文会	蔵居 良造	東亜/財団法人霞山会	177	1982.3	29-34	305:86
179	上海で異色の人材を輩出した、東亜同文書院の栄光と悲哀：発行された「大学史」が語る日中関係裏面史		週刊朝日	87(32)	1982.7.23	132-135	
180	ある悲運の「中国語大辞典」：熊野正平編	山本 潔	滬友/滬友会	50	1983.5	25-31	370.5:107
181	東北大学の故野崎駿平教授：書院系教授の古武士的偉材	菅野 俊作(41期)	滬友/滬友会	50	1983.5	35-38	370.5:107
182	「根津先生宅址」と「愚庵終焉之地」碑	加藤 誠一(31期)	滬友/滬友会	51	1983.11	78-81	370.5:107
183	日本通訊「東亜同文書院」	NHK ラジオ日本	滬友/滬友会	52	1984.4	36-46	370.5:107
184	資料 荒尾・菅井・西南の役	岡崎 朝彦	滬友/滬友会	52	1984.4	47-51	370.5:107
185	山洲根津先生の禅道	加藤 誠一(31期)	滬友/滬友会	54	1985.5	52-57	370.5:107
186	山洲根津先生の禅道(追記)	加藤 誠一(31期)	滬友/滬友会	55	1986.2	49-52	370.5:107
187	愛知大学霞山文庫 上	池上 貞一	同朋(同朋会)	98	1986.8	5-7	
188	東亜同文書院の中国語教育	六角 恒廣	早稲田商学	318	1986.8	155-191	670.5:12
189	愛知大学霞山文庫 下	池上 貞一	同朋(同朋会)	100	1986.9	11-13	
190	書評「東亜同文書院大学史：創立 80 周年記念誌」 滬友会大学史編纂委員会	Douglas R. Reynolds	アジア研究	33(2)	1986.10	110-115	国研所蔵 英文書評
191	Chinese Area Studies in Prewar China: Japan's Toa Dobun Shoin in Shanghai, 1900-1945	Douglas R. Reynolds	Journal of Asian Studies	45(5)	1986.11	1-26	e-journal
192	A Golden Decade Forgotten: Japan-China Relations, 1898-1907	Douglas R. Reynolds	The Transactions of the Asiatic Society of Japan. Ser. 4	2	1987	93-153	名 Z30:13-4
193	中国・福建省ノート：東亜同文書院学生の「旅行日記」記録の分析との関連で	藤田 佳久	愛知大学国際問題研究所紀要	84	1987.7	1-62	305:23
194	日中関係史研究の新しい波：荒尾精と東亜同文書院の再評価	衛藤 達吉 (亜細亜大学学長)	滬友/滬友会	56	1987.10	12-13	370.5:107
195	アメリカ人の目から見た東亜同文書院大学史・創立八十周年記念誌	D. R. レーノルド著 森谷 利彦訳(43期)	滬友/滬友会	56	1987.10	14-15	370.5:107
196	東亜同文書院上海調査報告書目次	谷 光隆	滬友/滬友会	56	1987.10	39-43	370.5:107
197	東亜同文会和三井財閥	中村 哲夫	神戸学院大学教養部紀要	24	1988.3	19-24	
198	靖亜論：武道義道兄を偲ぶ	斉藤 洲臣(35期)	滬友/滬友会	57	1988.10	32-37	記念センター
199	書院文化史の願い	大城 立裕(44期)	滬友/滬友会	57	1988.10	37-41	記念センター
200	随筆：古往今来：東亜同文書院のこと	大石 明信	滬友/滬友会	57	1988.10	71-73	記念センター
201	岸田吟香書簡	中村 義	辛亥革命研究/ 辛亥革命研究会	8	1988.12	73-78	国研
202	東亜同文書院 上海調査報告書 1. 上海に於ける朝鮮人 2. 上海調査報告書目次	谷 光隆 編	愛知大学国際問題研究所紀要	88 特集号	1989.3	1-202	305:23
203	東亜同文書院生の中国調査旅行コースについて	藤田 佳久	愛知大学国際問題研究所紀要	90	1989.12	1-74	305:23
204	1900-1945 上海の日本東亜同文書院	董 超文	档案与歴史	1	1990	72-75	中国語
205	戦前の日中文化摩擦から何を学ぶべきか： 「東亜同文会の中国人教育事業」等を読んで	熊 達雲	国際教育研究(東京学芸大学)	10	1990.3	25-33	370.5:93
206	同文書院における中国語教育の独自性	石田 武雄(26期)	滬友/滬友会	58	1990.5	43-46	記念センター

	論文名	著者名	雑誌名	号数	年・月	ページ	請求番号
207	上海回顧	笠坊 乙彦(38期)	滬友/滬友会	58	1990.5	76-84	記念センター
208	大旅行誌雑感	藤岡 瑛	滬友/滬友会	58	1990.5	84-86	記念センター
209	日清貿易研究所 大川愛次郎氏と日清、日露、シベリア戦役	山本 隆(37期)	滬友/滬友会	58	1990.5	92-95	記念センター
210	所蔵コレクション紹介(1)震山文庫	谷 光隆 (愛知大学教授)	韋編 (愛知大学図書館報)	1	1990.6	2-4	所蔵あり
211	『蘭州紀要』に寄せて：東亜同文書院学生の中国調査旅行プランへの原点と漢口楽善堂	藤田 佳久	愛知大学国際問題 研究所紀要	91	1990.6	1-56	305:23
212	東亜同文書院 香葉調査報告書 1. 支那の阿片調査 2. 香葉調査報告書目次	谷 光隆 編	愛知大学国際問題 研究所紀要	93 特集号	1991.3	1-190	305:23
213	「資料」山西省二於ケル村政ノ研究：東亜同文書院『支那調査報告書』	谷 光隆 (愛知大学教授)	愛知大学文学論叢	96	1991.3	105-124	905:4
214	「東亜同文書院の群像」雑感	栗田 尚弥	滬友/滬友会	59	1991.4	42-45	記念センター
215	東亜同文書院大学に思う	江頭 数馬(44期子)	滬友/滬友会	59	1991.4	45-48	記念センター
216	所感	金子 憲良	滬友/滬友会	59	1991.4	48-52	記念センター
217	東亜同文書院と愛知大学の関係：愛知大学創設の背景と理念	大野 一石(46期)	滬友/滬友会	59	1991.4	53-59	記念センター
218	波多野養作の中国・西域踏査旅行について：東亜同文書院の中国調査旅行 実施への契機となった踏査旅行記録から	藤田 佳久	愛知大学国際問題 研究所紀要	94	1991.5	1-81	305:23
219	所蔵コレクションを読む：東亜同文書院支那調査報告書	藤田 佳久 (愛知大学教授)	韋編 (愛知大学図書館報)	3	1991.6	2-3	所蔵あり
220	産業革命初期の日中貿易：日清貿易研究所に関連して	村上 勝彦	東京経大会誌	174	1992.1	63-95	330.6:40
221	『東亜同文書院』資料を尋ねて	後藤 峰春 (愛知大学大学院)	韋編 (愛知大学図書館報)	5	1992.6	8-9	所蔵あり
222	孫文・山田良政・純三郎関係資料について	今泉 潤太郎 藤田 佳久	愛知大学国際問題 研究所紀要	97 日中 復交 20 周年記念 特集号	1992.9	413-513	305:23
223	山田兄弟の遺族、孫文関係の資料を愛知大学に寄託	藤田 佳久	月刊 しにか	3(10)	1992.10	128-129	805:99
224	東亜同文書院『支那調査報告書』について	谷 光隆	汲古/汲古書院	22	1992.11	46-52	郷 205:43
225	北京市の図書館と『東亜同文書院』関係資料	藤森 猛 (愛知大学大学院)	韋編 (愛知大学図書館報)	6	1992.12	12-13	所蔵あり
226	愛知大学創設の蔵書(続)：図書館のルーツ	大野 一石 (愛知大学職員)	韋編 (愛知大学図書館報)	8	1993.1	6-7	所蔵あり
227	波多野養作の「西域地方事情」ノート：中国・西域踏査旅行報告の付論から	藤田 佳久	愛知大学国際問題 研究所紀要	98	1993.2	1-54	305:23
228	愛知大学創設の蔵書：図書館のルーツ	大野 一石 (愛知大学職員)	韋編 (愛知大学図書館報)	7	1993.6	4-5	所蔵あり
229	日清貿易研究所の教育理想	鈴木 健一	歴史学と歴史教育	45	1993.7	1-12	
230	愛知大学の原点は東亜同文書院大学：その建学精神の継承と発展	小崎 昌業 (元在ルーマニア特命 全権大使)	東亜同文書院大学と 愛知大学	1	1993.10	14-29	370.5:140-2
231	私記：東亜同文書院大学と愛知大学	釜井 卓三 (元読売新聞社)	東亜同文書院大学と 愛知大学	1	1993.10	30-43	370.5:140-2
232	「幻」ではない東亜同文書院と東亜同文書院大学	藤田 佳久 (愛知大学教授)	東亜同文書院大学と 愛知大学	1	1993.10	50-75	370.5:140-2
233	見逃せない地方有力大学 愛知大学 旧東亜同文書院の伝統を受け継ぎ、中国はじめ英米大学との交流を広げる	海野 市三	財界	41(26)	1993.10.	臨増 134-135	
234	孫中山和東亜同文会	中村 哲夫 謝 俊美 訳	歴史教学問題	2	1994	34-37、 56	中国語
235	上海にあった日本の学校：東亜同文書院 (朝日新聞連載「太平洋戦争五十年 - 戦争と人々」第28部より)	毛井 正勝 (朝日新聞編集委員)	愛知大学東亜同文書院 大学記念センター報	創刊号	1994.3	20-35	370.5:140
236	中国・辛亥革命から80年：本学へ孫文関係資料寄託される	藤田 佳久 (愛知大学教授)	愛知大学東亜同文書院 大学記念センター報	創刊号	1994.3	36-39	370.5:140
237	東亜同文書院記念センターの発足に寄せて：愛知大学の建学精神の再構築	大野 一石 (愛知大学職員)	愛知大学東亜同文書院 大学記念センター報	創刊号	1994.3	46-53	370.5:140
238	上海の虹橋路にあった外務省管轄の高専：東亜同文書院(わが母校)	春名 和雄	週刊文春	36(14)	1994.4.7	145	所蔵あり
239	「馬馬虎虎」の一語：同文書院終焉前後の思い出	松山 昭治 (元中日日本放送)	東亜同文書院大学と 愛知大学	2	1994.12	4-19	370.5:140-2
240	不幸な時代の青春の記録：東亜同文書院生と反戦運動	伊藤 喜久蔵 (中日新聞・東京新聞 論説委員)	東亜同文書院大学と 愛知大学	2	1994.12	20-43	370.5:140-2
241	祖父、大内暢三の肖像：日中戦争開始時の東亜同文書院院長	川原 寅男 (元NHKアジア部長)	東亜同文書院大学と 愛知大学	2	1994.12	44-59	370.5:140-2

以降、次回に続く